

射水市立新湊小学校 令和6年7月19日



# はまっこ

令和6年度—第4号 校長 竹林 浩樹



## 優しさや思いやりを 「新湊しぐさ」＝「はまっこモデル」として

6年生の道徳の教科書に「江戸しぐさ」が紹介されていました。

ご存じの方も多いかと思いますが、東京が江戸と呼ばれていた頃、江戸の町ではとても大勢の人が狭いところで暮らしていました。ですから、争いごとは起こさず仲よく助け合っているという思いをみんながもっていました。その思いは、「江戸しぐさ」によく表れています。

江戸の町は家と家との間の道が狭く、雨が降って傘を差した者どうしがすれ違おうとすると、どうしても傘がぶつかってしまいます。そこでお互いの傘を外側に傾け合ってすれ違いました。これを「傘かしげ」といいます。また、川を渡る船に乗って座っているときに後から人が乗ってくると、座っている人全員が一斉にこぶし1つ分ずつ詰めてその人の座る場所を空けていました。これを「こぶし腰浮かせ」といいます。現在では代わって、電車やバスの中でお年寄りや妊婦さんに席を譲ってあげる姿を見かけるようになりました。現代風「腰浮かせ」ですね。

人がたくさん集まっている場所では、お互いの足元が見えず、間違っただけで人の足を踏んでしまうことがあります。踏んだ人は当然謝りますが、踏まれた人が「痛えな。気を付けろ」などとやり返してしまうとけんかになることもあるでしょう。でも、江戸の人たちは違いました。踏まれた方が「いや、そんなところに足を出していた私もうかつでした。すみません」と謝るのです。これは、「うかつ謝り」という江戸しぐさです。

このように江戸の人たちは、お互いに争いごとを避け、相手の失敗を決して責めずにお互いを思いやりながら仲よく暮らしていました。こうした優しい心や思いやりの心など、人として大切な心を言葉や行動で表したものが「江戸しぐさ」なのです。今の時代に生きる子供たちにも、古来から伝わる優しさや思いやりを「新湊しぐさ」＝「はまっこモデル」として行動で表していける人になってくれたら素敵な地域や学校になるだろうと日々考えています。

この1学期間、実にたくさんのチェンジ（成長）が見て取れました。間もなく迎える夏休みも、「みらいへ チャレンジ・チェンジ」の合言葉の下、充実した時間を過ごしてほしいと思います。併せて、「新湊しぐさ」にご家庭でも取り組んでいただけましたらうれしく思います。

今学期も本校の教育活動の推進にあたり、保護者の方々や地域の皆様には多くのご理解とご協力をいただきました。心からお礼を申し上げます。

## 台湾・士林国民小学校の子供たちとの交流会

先月の25日(火)に、射水市の姉妹都市である台北市士林区にある士林国民小学校の子供たちを招いての交流会を行いました。お互いの学校紹介や仲間づくりゲーム、給食を一緒に食べて交流を深めました。子供たちにとっては、異なる国の文化や価値観の違いを理解するよいきっかけとなりました。



# のじた踊り納涼祭に出かけよう！

今月27日(土)と来月11日(日)に、のじた踊り納涼祭が行われます。「のじた踊り納涼祭実行委員会」では、地域の祭りとしてののじた踊りの継承と普及に力を入れておられます。27日は川の駅で、8月11日はクロスベイ新湊でどちらも午後5時から行われます。のじた踊りを踊ってみたい人や見てみたい人は、参加して地域のお祭りを楽しみましょう。



## はまっこたち・活躍の様子を紹介します



6年生 児童集会 5年ぶりに復活した「はまっこ集会」6年生が学校を引っ張ってくれています。



5年生 放生津小との交流会 今月行われる宿泊学習を前に、自己紹介等をして交流しました



4年生 総合 地域の「ごみの作戦」を全校に呼びかけ、環境について学習を深めています。



3年生 士林国民小学校交流会 入場のアーチや一文字を掲げ、歓迎の気持ちを伝えました。



2年生 生活科 地域に探検に出て、住んでいる町のすてきな面を調べ、みんなに伝え合いました。。



1年生 士林国民小学校交流会 けん玉やあやとり、お手玉、コマ回しをして交流しました。

子供たちの様子は、本校ホームページでもご覧いただけます。

